

令和5年3月  
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和5年3月28日(火) 午後2時00分  
閉 会 : 令和5年3月28日(火) 午後2時43分  
会 議 場 : 本庁舎3階庁議室

出席委員 : 1番委員 松本 和雄  
2番委員 山中 直子  
3番委員 大島 隆芳  
4番委員 浅海 純一

出席者 : 教育長 前野 浩二  
事務局長 笠原 義浩  
事務局次長兼学校指導監 板倉 邦弘  
事務局次長兼文化財保護課長 堀 宏行  
専門員兼教育総務課長 山越 達也  
学校教育課長 磯田 欣央  
保健給食課長 井上 夏美  
教育研究所長 飛川 成正  
市民部専門員兼市民スポーツ課長 諸 敦夫

書 記 : 教育総務課主幹 大池 伸吾

## 1 開会宣言

教 育 長 : 令和5年3月教育委員会定例会の開会を宣言する。

## 2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、3番委員及び4番委員を指名する。

## 3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。  
(「異議なし」の声あり)  
異議なしと認め、公開とする。

## 4 前回会議の議事録の承認

令和5年2月28日に開会された2月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

## 5 報告事項

### (1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 今年、例年より早く秩父地域にも桜が開花し、様々な草花の開花とともに、豊かな自然を身近に感じさせる春の暖かな陽気となった。  
2点、報告する。

1点目、令和7年開催の第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会が3月24日に開催され、大会テーマが「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」と決定した。植樹祭開催にあたっては、先日の総合教育会議でも担当から説明があったが、令和5年度は、各学校において緑の少年団の活動の充実を図るとともに国土緑化運動の推進を図っていきたいと考えている。今年度は21校で「苗木のスクールステイ」が始まり、今後、校内の緑化活動にも取り組んでいただく予定である。

2点目、令和5年度の埼玉県教育委員会の研究委嘱の予定について報告する。

久那小学校が「校外教育研究」(義務教育指導課)と「小学校体育授業研究校」(保健体育課)、荒川中学校が「道徳教育研究推進モデル校」(義務教育指導課)と「ヤングケアラーサポートクラス」(人権教育課)、原谷小学校が「未来を生き抜く人財育成、学力保障スクラム事業」(義務教育指導課)で、以上が研究委嘱となる。また、重点支援として吉田小学校が「令和4・5年度全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状

況調査の結果を踏まえた市町村・学校への重点的な支援」をいただくことになっており、すでに支援が始まっている。

これらの他に、秩父地区教育委員会連合会から2校、各学校研究に市教委から委嘱し、校内研修の充実を図っていただく予定である。各学校には、必要に応じて指導主事を派遣し、研究推進への支援をしていきたいと考えている。

- 1 番 委 員 : 年度末になって、新型コロナウイルスの感染もだいぶ少なくなってきたようで、非常に嬉しく思う。児童生徒も、学年末にじっくり落ち着いて学習ができたのではと感じている。6年生は新たに中学校へ、他の在學生は新学年へ、中学3年生は次の進路へということで、4月の入学式や始業式に向けて、ワクワクしながら春休みを過ごしているのではと思う。子どもたちが新鮮な気持ちで新年度を迎えられれば良いと願っている。そのためには、今よりももっと感染が収まってほしい、そんな気持ちである。

報告事項は、特にない。

- 2 番 委 員 : 報告事項は特にないが、3月ということで1年の締めくくりの月でもあるので、今年度を振り返り感想を述べさせていただく。

今年度もやはり新型コロナウイルス感染症の影響があった1年だと思う。昨年11月から12月にかけて子どもたちの感染も増え、毎日のように学級閉鎖や学年閉鎖の連絡をもらっていた時は、大変心配をした。幸いほとんどの子どもたちが軽症だったと聞いて、安堵した。新型コロナの流行期には、子どもたちやその保護者も大変不安なことであったと思う。今コロナ感染は落ち着いているが、またいつ流行するかもわからないので、日々の生活の中での基本的な感染対策は心掛けてほしいと思う。

また、学級閉鎖や学年閉鎖の時には、多くの学校でパソコンを使ってのオンライン授業が行われたとのことである。GIGAスクール構想で1人1台のパソコンが児童生徒に配られて2年であるが、多くの子どもたちがパソコンに慣れ、活用されていることに感心した。子どもたちのパソコン操作の習得の速さにも感心したが、先生方の日々の研究の成果だとも思うので、感謝している。これからも様々な研究を重ね、ICT授業の更なる展開を願っている。

また、今年度はコロナ感染が落ち着いている時に様々な学校行事が行われたことは、子どもたちにとって本当に良かったと思う。子どもたちの青春には欠かせない学校行事なので、少しずつでも再開されてきて安堵している。また、授業参観なども行われて、保護者が学校に行く機会が増えてことも良かったと思う。5月には新型コロナウイルスの扱いも変わってくるということで、来年度は多くの学校行事が感染の様子を見ながらも実施されることを願っている。ただし、ウイルスは消

えてしまうわけではないので、この3年間で身に付いた感染予防の習慣は、これからも必要で大事なものだと思うので、基本的な感染対策の習慣は、学校でも家庭でも忘れることなく継続してほしいと願っている。

また、この3年間のコロナ禍による子どもたちへの影響は大変大きかったのではないかと感じている。子どもたちの心にもどのような影響を与えているのかもわからない。これまで以上に学校・家庭・地域が連携を取り子どもたちを注意深く見守っていくことが大切かと感じている。

3 番 委 員 : 3月の半ばには、小・中学校の卒業式が無事に挙行でき、どの学校も両保護者の参加で式典が行われたということを知り、本当に良かったと感じている。また、マスクを外して遊ぶ子どもが増え表情が見えると、心なしか子どもたちがいつもより楽しく遊んだり自転車に乗っているように感じて、明るい未来が見えてきたと実感している。

1点、報告する。

自分の知っている子で、来年度から中学3年生になる不登校の女子が2人いる。家庭でどのような過ごし方をしているのかわからないが、多くの子どもが輝かしい春を迎えようとしている中で、不登校の子どもはどのような気持ちでこの時期を過ごしているのかと感じている。

不登校となる原因は、多岐にわたって色々なことが積み重なってそういう状況ができているように思う。各学校の先生方もその解消に向けて、様々な対策をしているようであるが、なかなかその結果が出ていないところだと思う。

いち教育委員として自分ができることは本当に少ないけれども、せめて彼女たちから心を離すことなく、何が一番良い事なのかを考えている。ただ思うことは、子どもたちが、学校へ行けないから自分は駄目な子なのだと自虐することなく、学校に通っている子と変わらない可能性を自分は持っているのだ、という気持ちを忘れないようにしてもらいたいと思っている。家庭や学校もそのことを念頭に置いていただき、4月から新年度の学校生活がスタートするが、自分も何らかの形で関わっていかれたらと思う。

4 番 委 員 : 2点、報告する。

1点目、先日研究所から発行された「秩父教育 第150」を見させていただいた。各学校でそれぞれの課題に基づいた研究テーマを設定し、学校全体で取り組んでいる様子がよく見て取れた。自分は高校の教職員をしていたが、ここまでしっかり成果と1年目の課題をまとめ上げているのは、小・中学校の取組の素晴らしさだと感じた。ぜひ今年度の課題と成果を踏まえて、また次年度に生かしていただきたい。

2点目、グローバル人材の育成についてである。

秩父教育の中に印刷されてあった、今年度の「学校教育推進プラン」と「学力向上推進プラン」について、今3月市議会でも一般質問がされていた小・中学校と市内県立高校との連携に関し、自分も何かできることはないかと思いながら内容を見返していた。

まず、伝統文化の継承を1つの柱として秩父の子どもを育てるということがあった。また、英語教育の強化充実という柱もあって、グローバル化の中で秩父に居ながらも世界とつながっている人材を育てるというものもあり、今後必要なことではないかと感じた。

グローバルとローカルを組み合わせた「グローカル」という造語があるが、世界規模で物事を考えて地元地域で行動する、という意味を表す。新校として秩父高校と皆野高校の再編整備が決定したが、そのコンセプトが国際化教育である。なぜ秩父で国際化なんだということもあるが、やはりインターネットが発達している現代において、ローカルの地域からグローバルに発信するということが、今後必要になってくると思われる。

秩父市の小・中学校の英語教育の強化充実というのが、小・中・高の連携につながっていき、秩父で育った子どもたちがグローバルで活躍する、グローバル人材の育成をぜひお願いしたいと思っている。

## (2) 事務局からの報告事項

事務局 長： 1点、秩父市議会3月定例会の結果について報告する。

2月21日に開会された秩父市議会3月定例会は、3月16日に閉会し、条例の一部改正や補正予算、新年度予算など付議された全ての議案が可決された。これにより、先月の当定例会で報告した教育委員会関係の予算も全て承認され、主要事業については、先日の秩父市総合教育会議においても議題となり、市長と意見交換を行っていただいたところである。

また、3月6日・7日・8日に行われた市政に対する一般質問では、登壇した13人の議員のうち、8人の議員から教育委員会に対して質問をいただいた。主な内容としては、「ゲノム編集トマト苗無償配布の取り扱いについて」「学校給食費の無償化について」「小・中学校における置き勉強について」「ICT教育について」「学校給食のアレルギー対策について」「卒業式でのマスクの着用について」「子どもたちの安心安全と学びについて」「7歳の交通安全対策について」などの質問であった。

最終日には、公平委員、固定資産評価審査委員、人権擁護委員の改選に伴う人事案件がそれぞれ同意された。

学校指導 監： 2点、報告する。

1点目、卒業式関係である。中学校の卒業式は3月15日に、小学校の卒業式は3月22日に無事終了することができた。各校、厳粛な

中にも感動的で、すばらしい卒業式であったと報告されている。なお、久那幼稚園については、卒園該当園児がいないため、今年度の卒園式はなかった。

2点目、中学3年生の進路についてである。今年度の中学3年生の在籍は490名で、県内国公立高等学校進学者数は368名、県内私立は79名、県外国公立は1名、県外私立は8名、定時制4名、通信制17名、県内特別支援学校高等部は4名、その他は9名となっている。

文化財保護課長 : 1点、県指定文化財について報告する。

市指定有形文化財の「札所14番 長岳山今宮坊の飛天像」が、3月10日の埼玉県教育委員会において、埼玉県指定有形文化財の新規指定を受けることが決まった。

また、追加指定として、県の指定文化財の「三峯神社社殿」に、拝殿・随身門・国常立神社・日本武神社・手水舎・秩父宮台臨記念館の6棟を追加した。

市内の文化財の総数は、市の指定が1件減り、県の指定が1件増えたため、変更はない。なお、市内の文化財の数は、登録有形文化財を加えた国の文化財が40件、県の文化財が1件増え54件、市の文化財が1件減り194件、総計288件である。

教育総務課長 : 2点、報告する。

1点目、市議会3月定例会の市政に対する一般質問について、教育委員会関係の質問内容を取りまとめて、配布しているので、後ほど御覧いただきたい。

2点目、生活クラブ生活協同組合埼玉より、「ゲノム編集トマト苗の無償配布の取扱いについて」の要望があったので報告する。

これは、一般質問で4番議員からも質問があったが、筑波大学のベンチャー企業が、トマトに含まれるギャバという血圧抑制効果のあるアミノ酸成分をゲノム編集技術(広い意味での遺伝子操作)で高蓄積させたトマトの苗を小・中学校や福祉施設に無償配布するという発表に対し、秩父市で受け取らないでほしいという内容の要望であった。現在、無償配布の話はないが、安全性が確保されていないものについては、市で受け取る予定はないと伝え、議会でも同様の答弁をしている。

今後については、食の安全性にかかる重要な問題であるので、慎重に対応していきたいと考えている。

学校教育課長 : 1点、就学援助費の入学前支給について報告する。

就学援助制度とは、経済的な理由により、子どもを公立小・中学校へ就学させることにお困りの御家庭に対して、学校で必要な学用品費、給食費、修学旅行費などの費用の一部を市が援助する制度である。

以前は、学用品費や校外活動費と合わせて9月に支給していたものを、平成29年度より、小・中学校への入学児童生徒に対し「新入学児

童生徒学用品費」と、中学校のみであるが「制服購入費」について、入学前の3月に前倒しで支給を行っている。

今年度、小学校については、1人当たり54,060円の「新入学児童生徒学用品費」を45人に支給し、中学校については、1人当たり60,000円の「新入学児童生徒学用品費」と1人当たり8,000円の「制服購入費」を63人に支給している。

今後も就学援助制度の趣旨及び申請手続の周知徹底を図るとともに、経済的な理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者へ引き続き適切な援助を実施していく。

保健給食課長 : 2点、報告する。

1点目、3月23日の秩父第一中学校共同調理場と北部共同調理場からの中学校への給食提供で、令和4年度の給食提供を全て終了した。今年度は当初の予定どおり186回の給食提供を行うことができた。

令和5年度は、4月11日から中学校、12日から小学校の給食提供を開始し、小・中学校とも今年度同様186回の提供を予定している。1つの調理場で委託業者の変更があるが、引き続き安心安全な給食定常を行っていききたい。

2点目、3月中における児童生徒及び教職員の感染症の感染状況についてである。

新型コロナウイルス感染症については、3月27日現在、小学生は感染者12人、中学生は感染者10人、教職員は感染者5人の報告がある。感染経路については、7割程度が経路不明となっている。

インフルエンザについては、3月に入ってから報告はない。

マスク着用のルールが緩和され、日常が戻りつつあるところであるが、引き続き注視していききたい。

教育研究所長 : 2点、報告する。

1点目、適応指導教室「ひまわり教室」の修了式が、3月8日及び15日に下郷児童館2階教育相談室にて行われた。

中学校3年生3名、中学校1・2年生4名、小学生5名の計12名が、学習の遅れを取り戻すための学習支援や各種の体験活動、体力向上、コミュニケーション能力の向上等の活動を行い、1年間の活動を修了することができた。

2点目は、秩父市教育委員会及び秩父市学力向上推進委員会における「令和版チチブ・チャレンジ」の作成についてである。

学力向上推進委員長である吉田中学校の矢口校長をはじめ、各小・中学校から推進委員が学力向上担当指導主事と共に、推進委員会等を通し編集・作成作業を行ってきた。内容としては、授業改善チャレンジ14として14の項目からなり、授業を行ったり、授業改善を図る際の基本的な考え方や取組の参考となる構成となっている。

本資料を基に、各学校で特色ある取組を実施していただければと考えている。学校現場で積極的に活用し、学力向上、授業改善等の充実に寄与できるものと期待している。

本日お手元に用意したので、後ほど御一読いただき、お気づきの点があったら御指導賜りたい。

### (3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

## 6 議案審議

教 育 長 : 議案第3号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

市民スポーツ課長 : 議案第3号「秩父市スポーツ推進委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または異議がなければ、本議案を原案どおり可決することはいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第3号は、原案どおり可決した。

## 7 協議事項

### (1) 第15採択地区教科用図書採択協議会委員の任命について

教 育 長 : 第15採択地区教科用図書採択協議会委員の任命について、事務局に説明を求める。

学校教育課長 : 第15採択地区教科用図書採択協議会委員の任命について、提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、原案どおり可決することはいかがか。

(「異議なし」という声あり)

事務局には、今後の処理をお願いします。

### (2) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、4件の協議をお願いします。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することはいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いします。



### (3) 4月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 4月教育委員会定例会について、4月26日午後2時から本庁舎3階庁議室において開催することを御提案させていただく。  
(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、4月教育委員会定例会については、4月26日午後2時から、本庁舎3階庁議室にて開催する。

## 8 その他

各 委 員 : 特になし。

事 務 局 : 3点、事務連絡を申し上げる。

1点目、教職員退職者辞令交付式を3月31日11時から、教職員就任式を4月3日13時30分から、それぞれ開催するので、出席をお願いします。

2点目、秩父地区教育委員会連合会の令和5年度第1回役員会を4月20日に開催する。役員である1番委員の出席をお願いします。

3点目、第15採択地区教科用図書採択協議会の第1回採択協議会を4月20日、連合会役員会の終了後に開催する。1番委員、2番委員の出席をお願いします。

## 9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。  
以上をもって、秩父市教育委員会3月定例会を閉会する。